



性の多様性小中学生講座アンケート調査

<小中学生アンケート>

住民自治局 平和人権共生課

目次

01 | 講座の目的

02 | 実施方法

03 | 講師

04 | 実施状況

05 | アンケート調査について

06 | お知らせ

1. 調査の目的



人それぞれに**違い**があることを理解し**尊重**できるように

性の多様性に対する市民理解は様々であり、差別や偏見に直面するなど、セクシュアリティを理由とした悩みを抱えている方も少なくありません。

2. 実施方法



小学校 1～3 年生、4～6 年生、中学校 1～3 年生用に 3 種類のプログラムを作成、学校を訪問し、1 時間の授業の中で講座を実施しています。

※ 実施にあたっては「誰もが性の当事者でありマイノリティの方が特別ではないこと」「マイノリティ探しやカミングアウトの誘発につなげないこと」に留意しています。

3. 講師

- “人間と性”教育研究協議会 長野サークル
- 松本市役所 住民自治局 平和人権共生課職員



4. 実施状況

性の多様性小中学生講座の実施状況については、以下の表をご覧ください。

年度	学校数（小学校、中学校、国、県、私立学校）	参加人数
令和4年度	47校	17,285名
令和5年度	48校	16,935名
令和6年度	48校	16,162名
令和7年度	48校	14,390名

5. アンケート調査について

「性の多様性小中学生講座」による児童・生徒の意識の変化や効果を把握し、今後の事業に活かすため、アンケート調査を実施しました。

1. **毎年 1～3 校を対象に実施**
2. **1 学年 1 クラスを対象に実施**
3. **事前・事後に分けて実施**

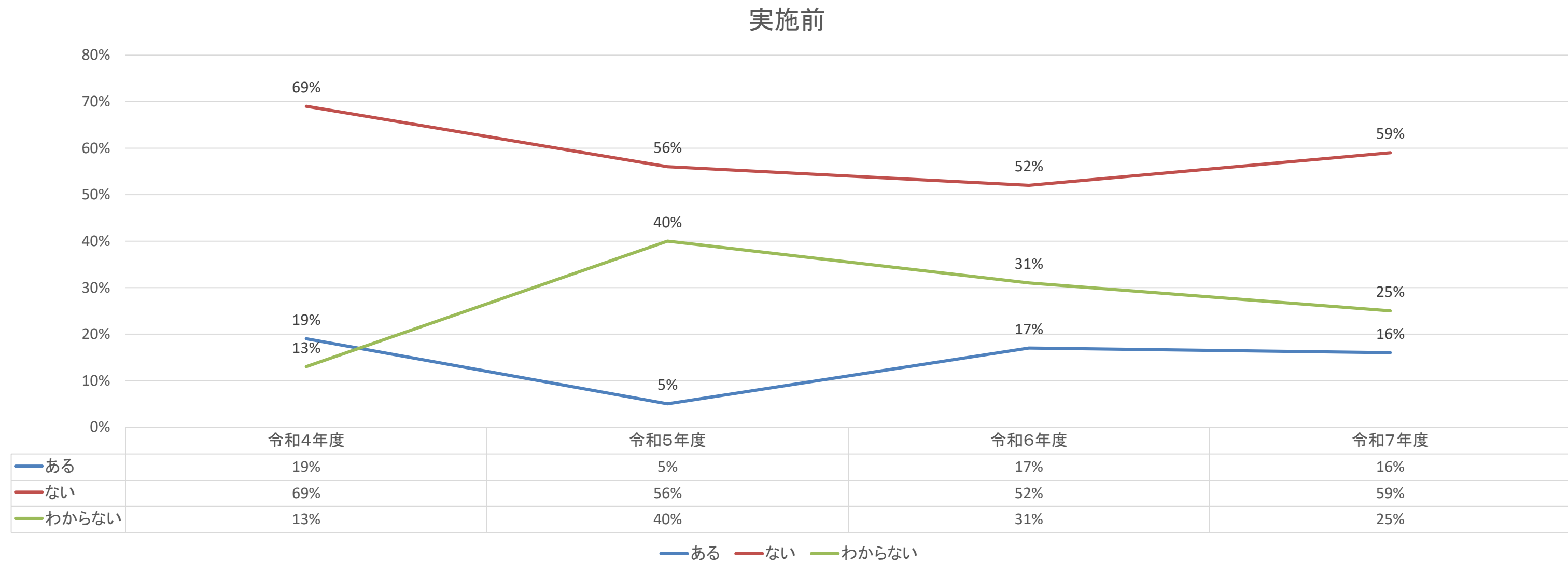
5. アンケート調査について

アンケートを実施した児童・生徒の人数は、以下にまとめています。

年度	小学校低学年 (事前・事後)	小学校高学年 (事前・事後)	中学校
令和4年度	334人・277人	383人・376人	300人・265人
令和5年度	442人・352人	404人・398人	461人・304人
令和6年度	241人・199人	323人・314人	280人・207人
令和7年度	250人・219人	87人・48人	237人・162人

5. アンケート調査について

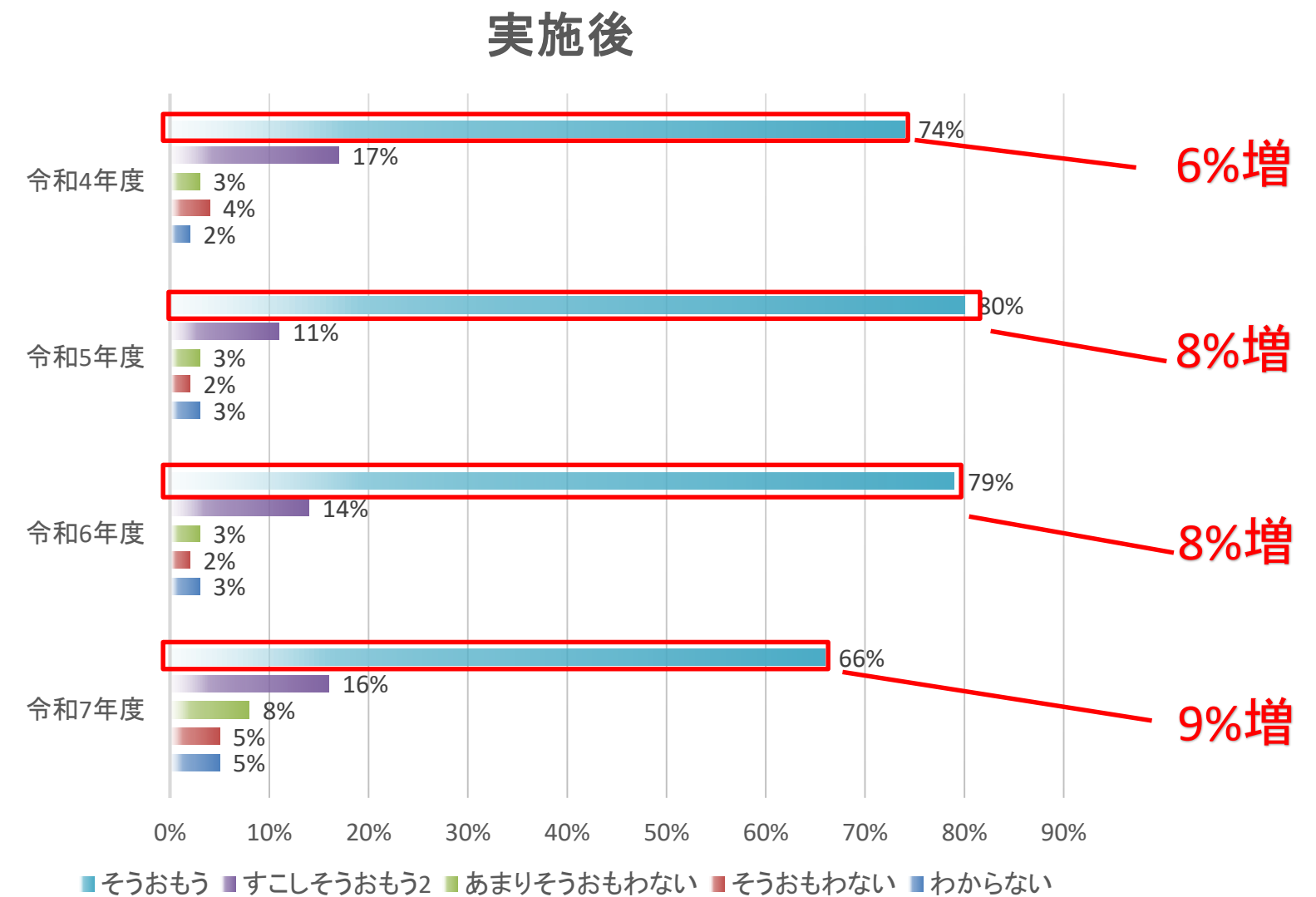
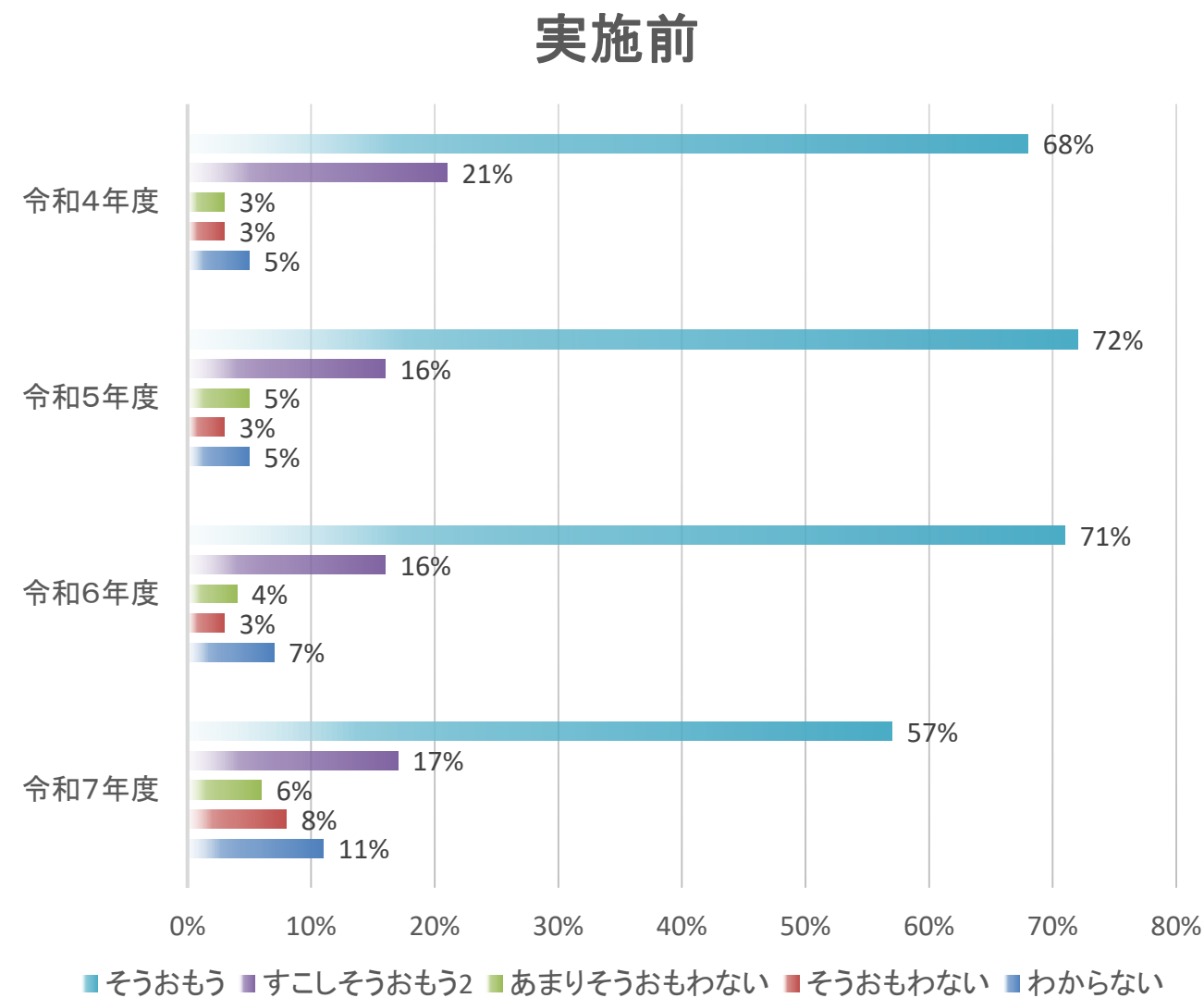
(1) 「男の子だから・・・」、「女の子だから・・・」と言われ、いやな気持ちになったことがありますか？(小学校低学年)



「ない」と回答した割合と、「ある」と回答した割合を比べると、「ない」と回答する割合が高くなっている。一方、「ある」との回答も一定数存在している。

5. アンケート調査について

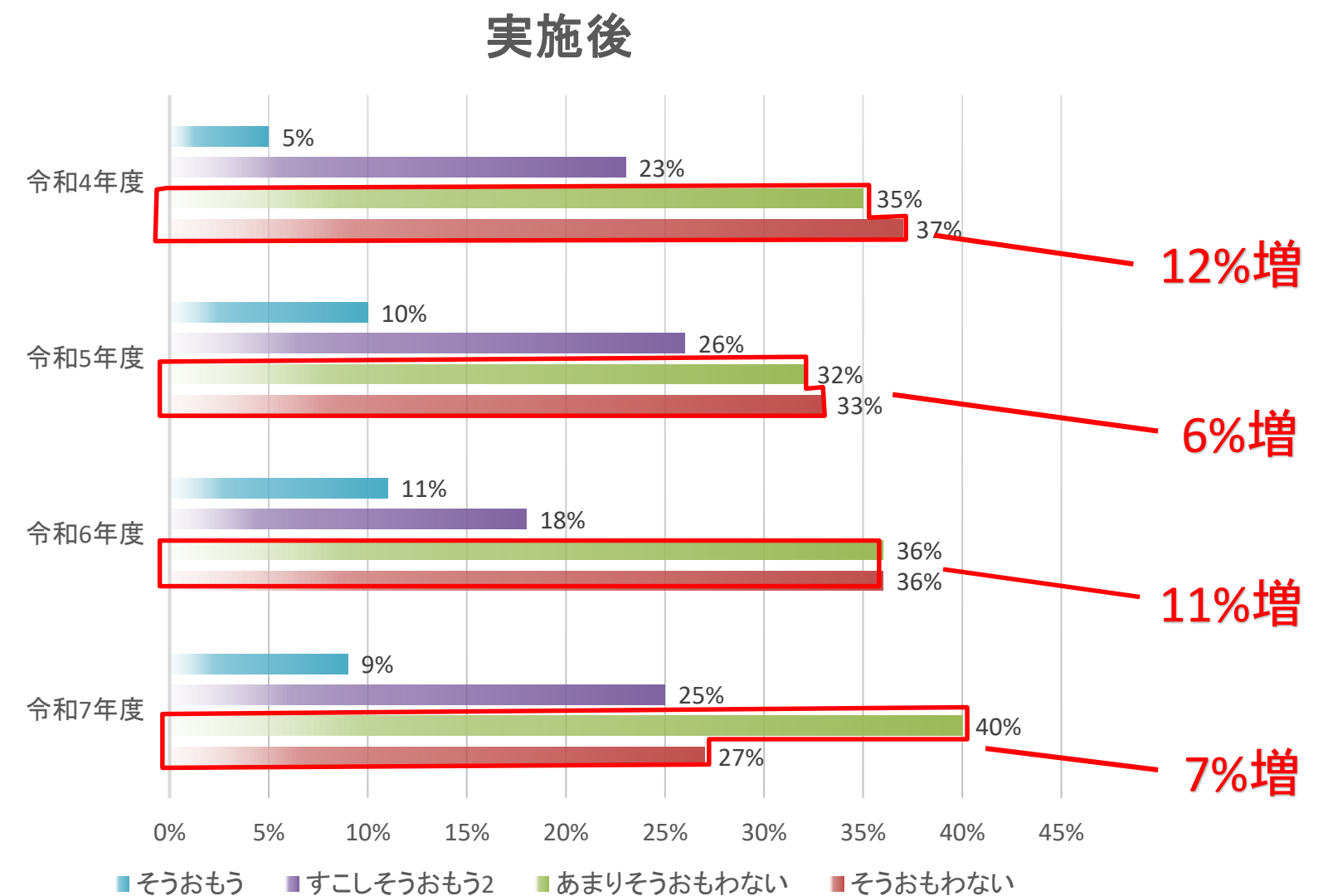
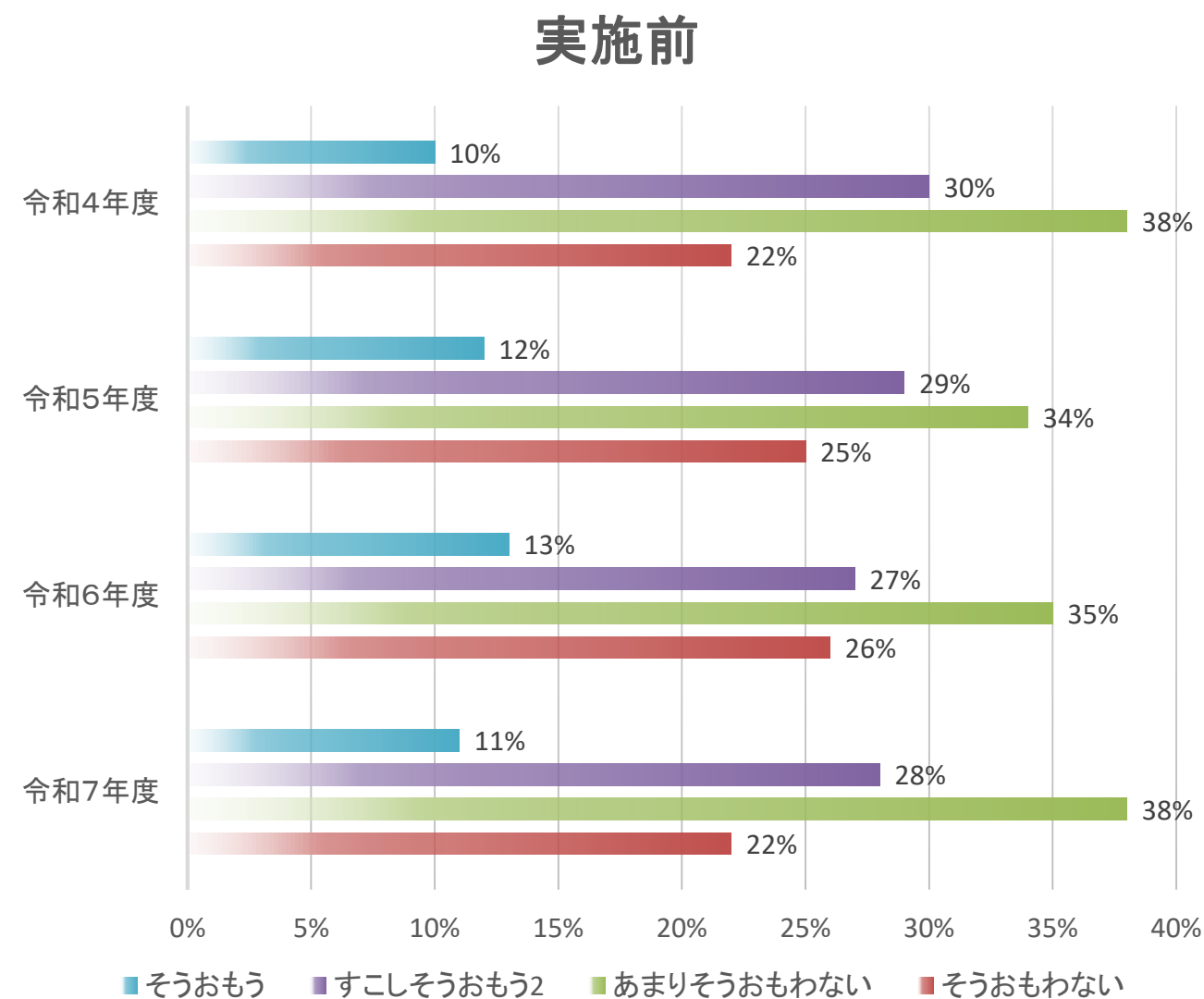
(2) 「自分らしくて、いいと思う」(小学校低学年)



講座の実施前と実施後で「そうおもう」と回答する割合が全体的に増加している。

5. アンケート調査について

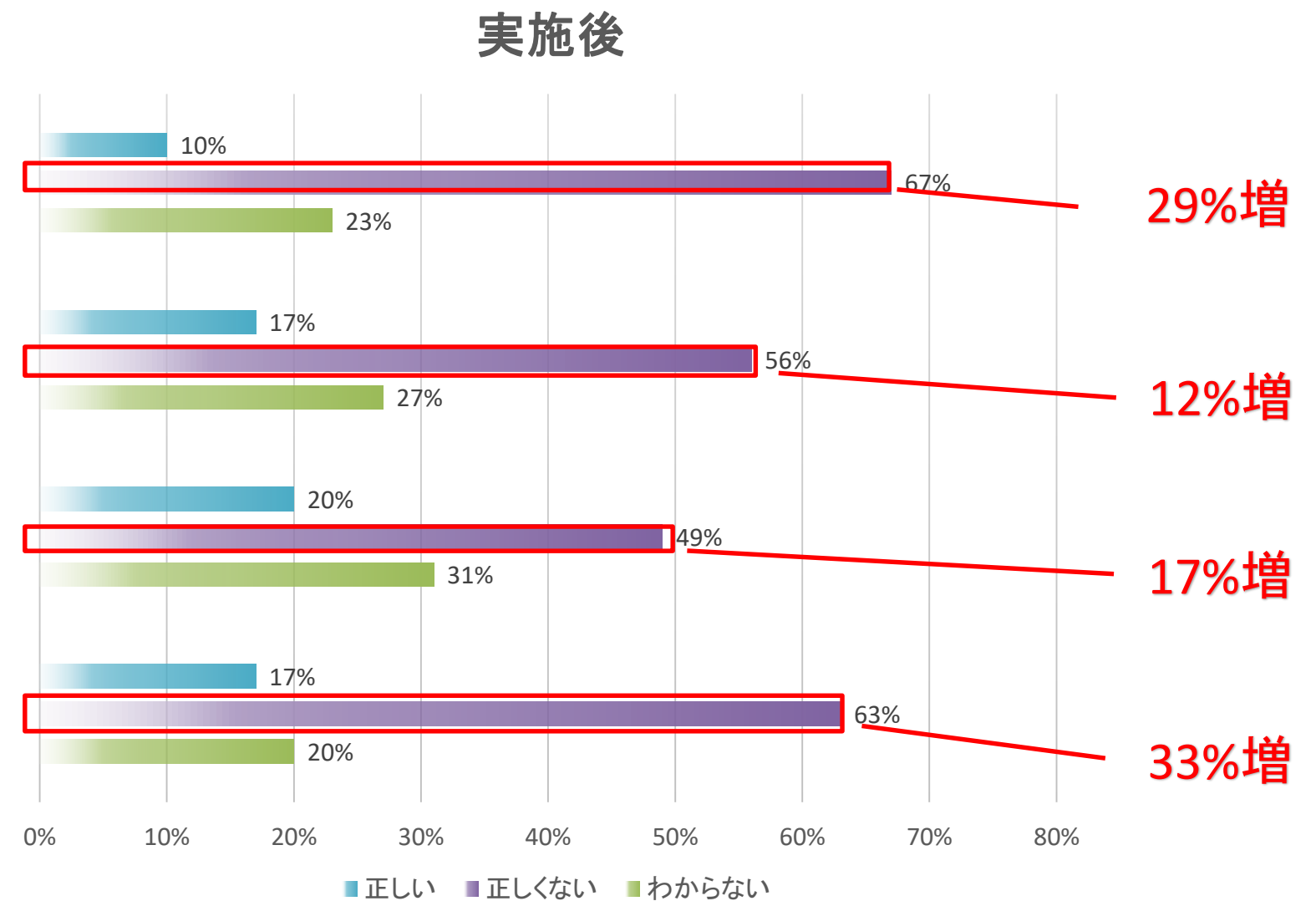
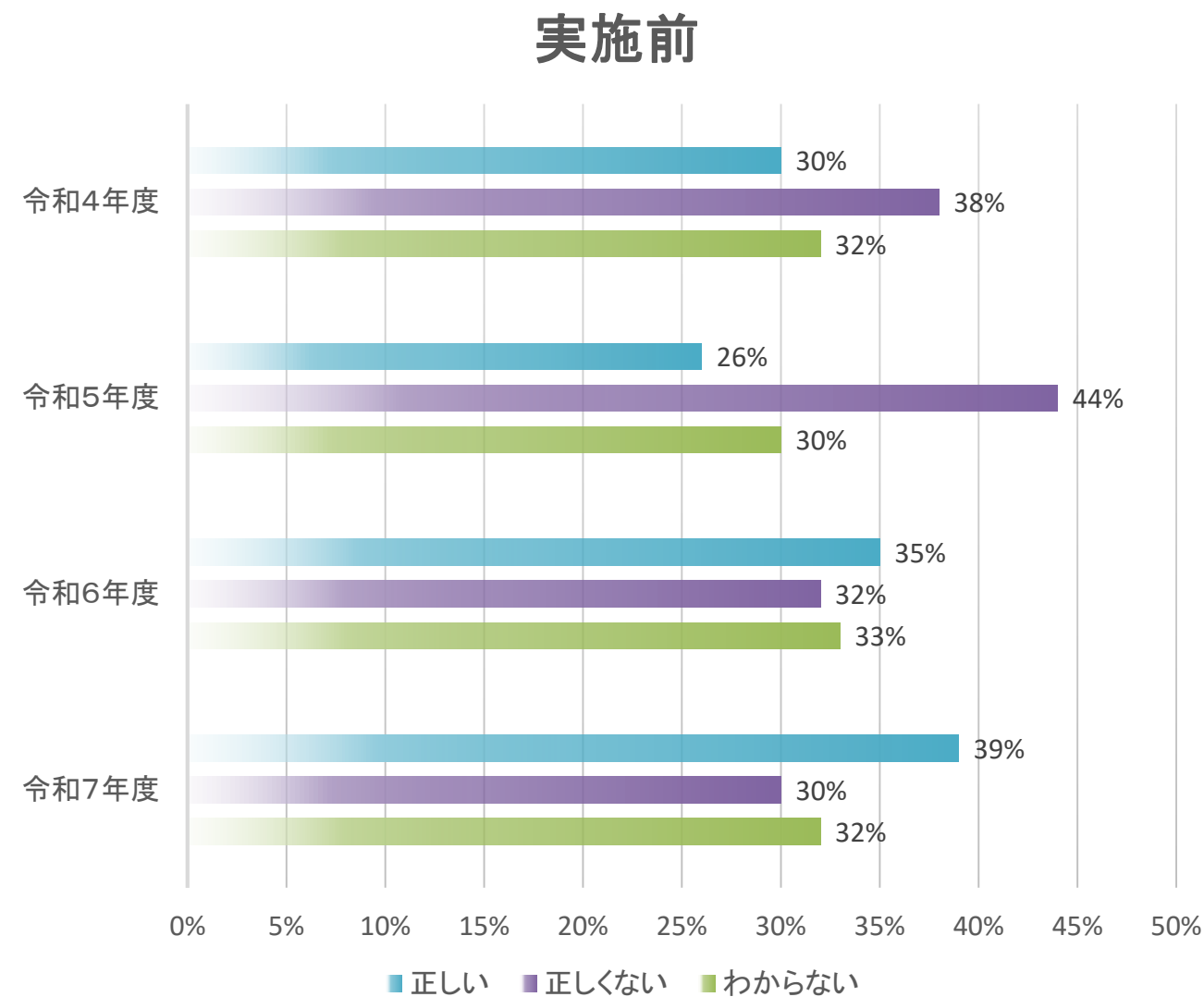
(3) 多様な性についての話は自分には関係のないことだと思う
(小学校高学年)



講座の実施前と実施後で「あまりそうおもわない」、「そうおもわない」と回答する割合が全体的に増加している。

5. アンケート調査について

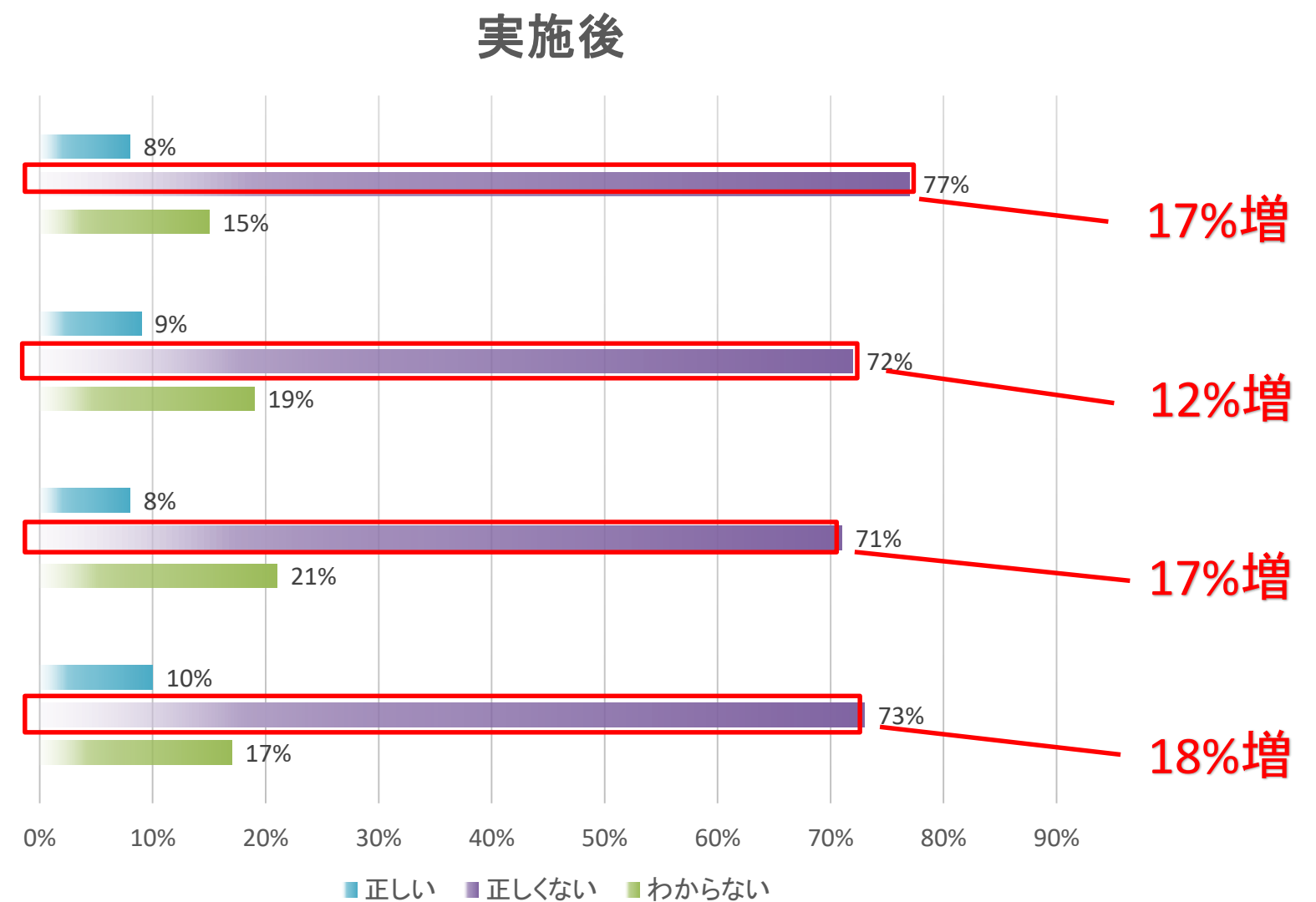
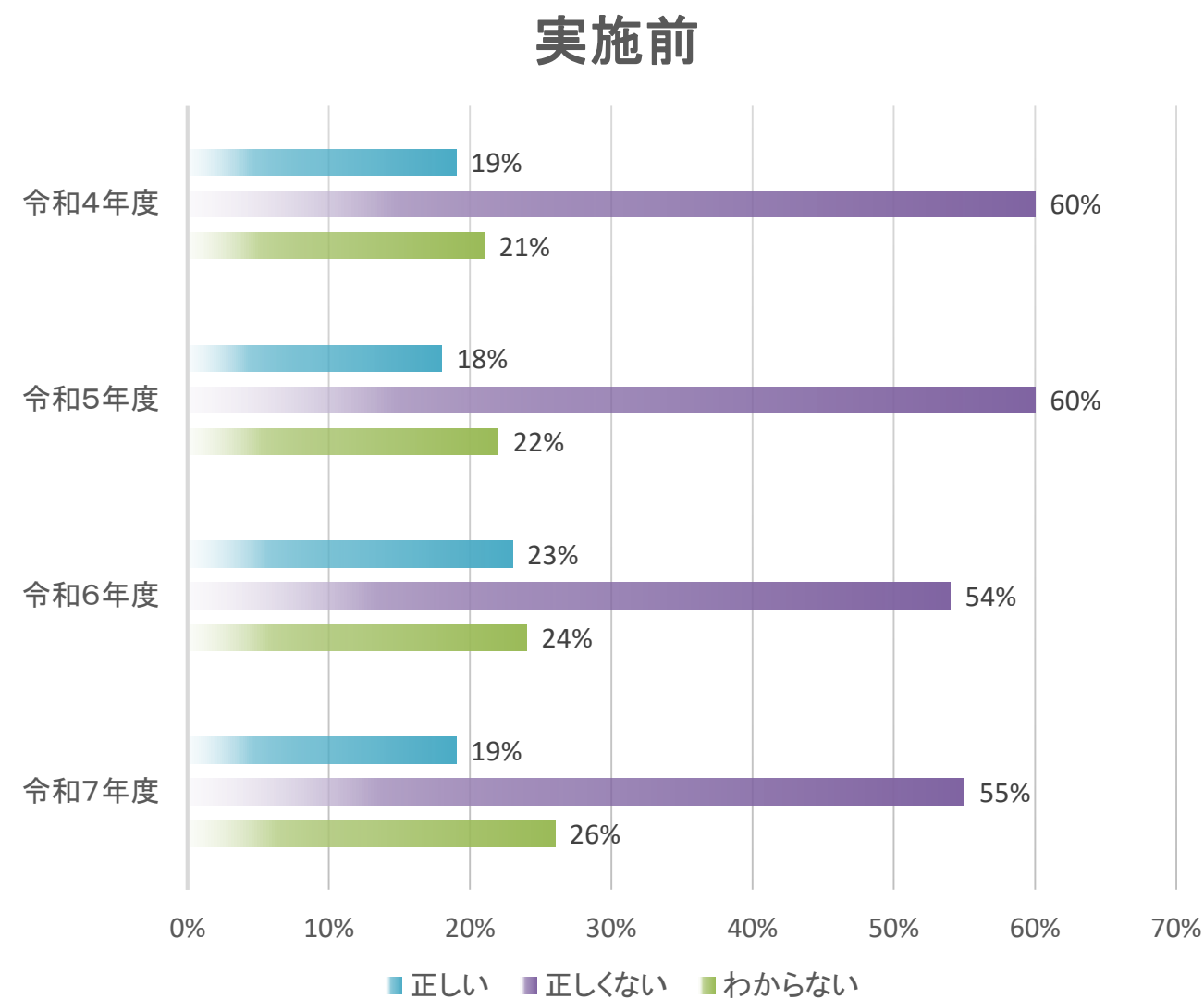
(4) 性別は「男」「女」の二つしかないと思う(小学校高学年)



講座の実施前と実施後で「正しくない」と回答する割合が全体的に増加している。

5. アンケート調査について

(5) 男の子のからだで生まれた人はみんな自分のことを男の子だと思っていて、女の子のからだで生まれた人はみんな自分のことを女の子だと思っている(小学校高学年)

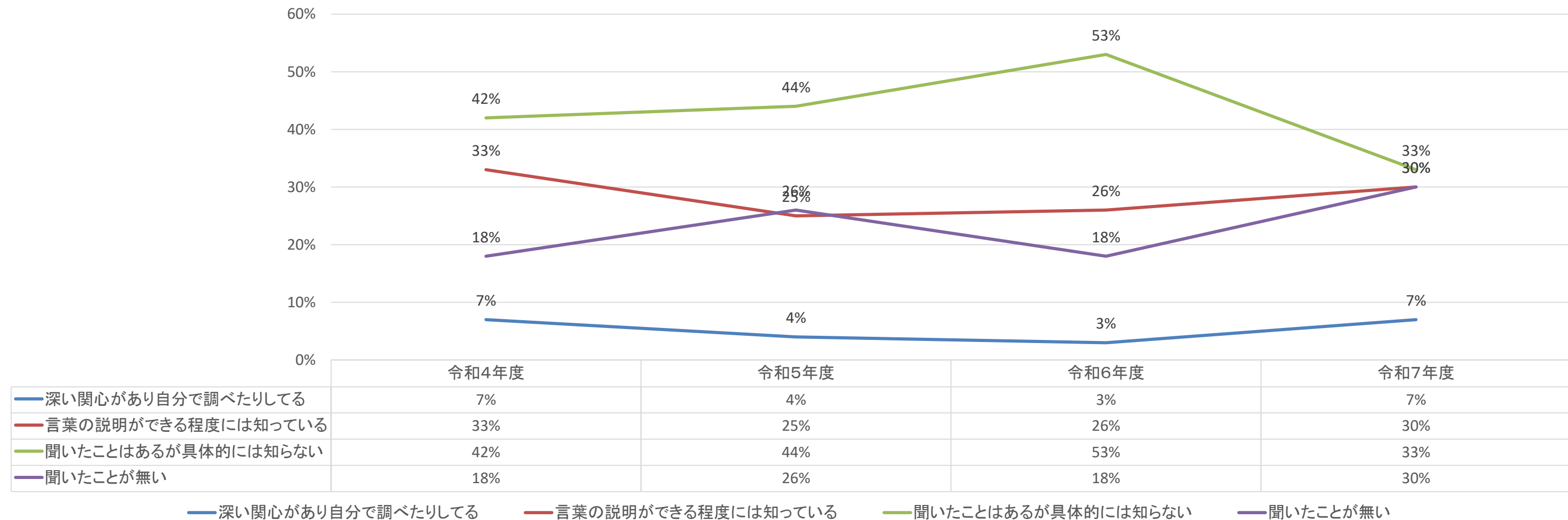


講座の実施前と実施後で「正しくない」と回答する割合が全体的に増加している。

5. アンケート調査について

(6) セクシャルマイノリティ(同性愛や性別不合などの人)について、どのくらい知っていますか？(中学校)

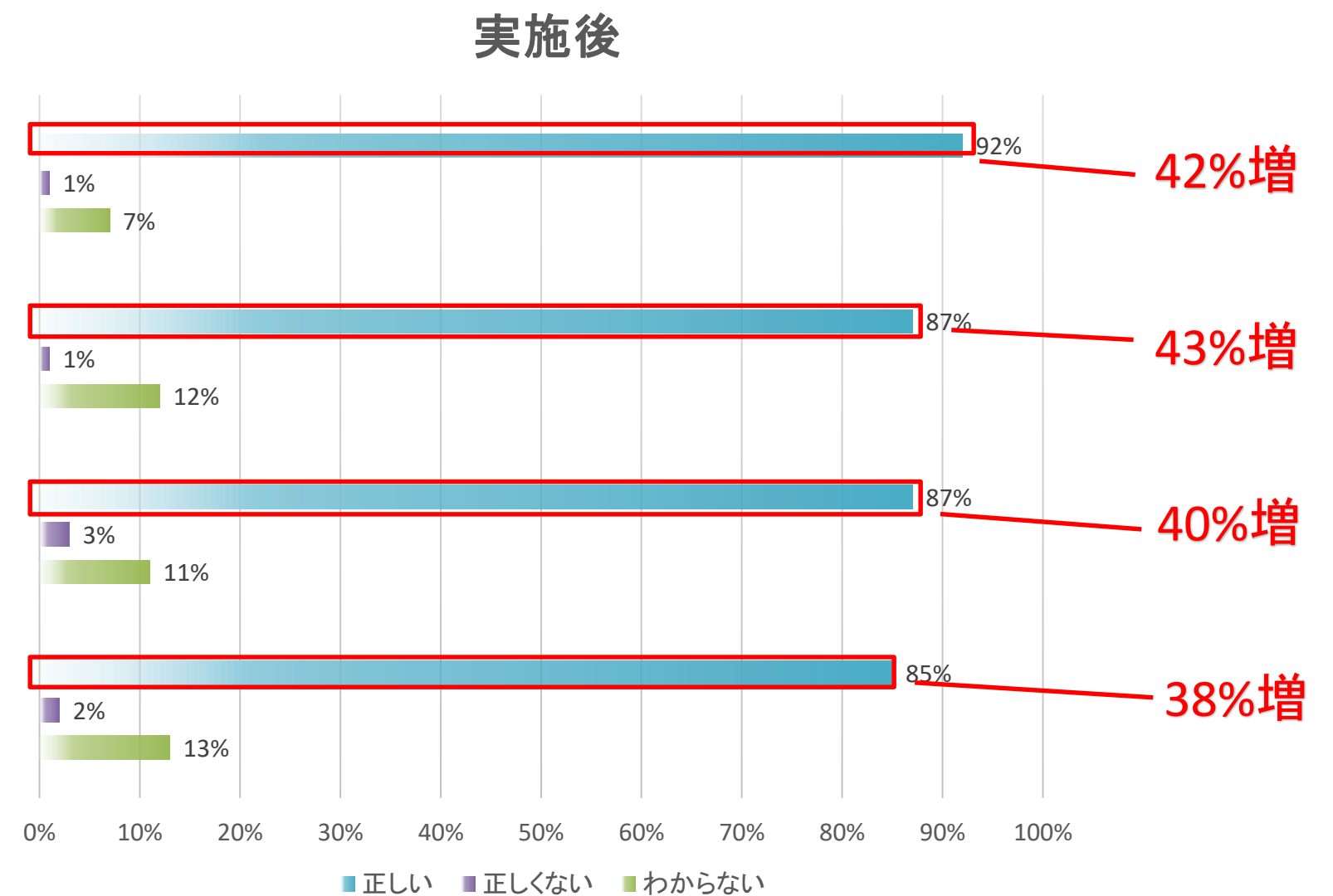
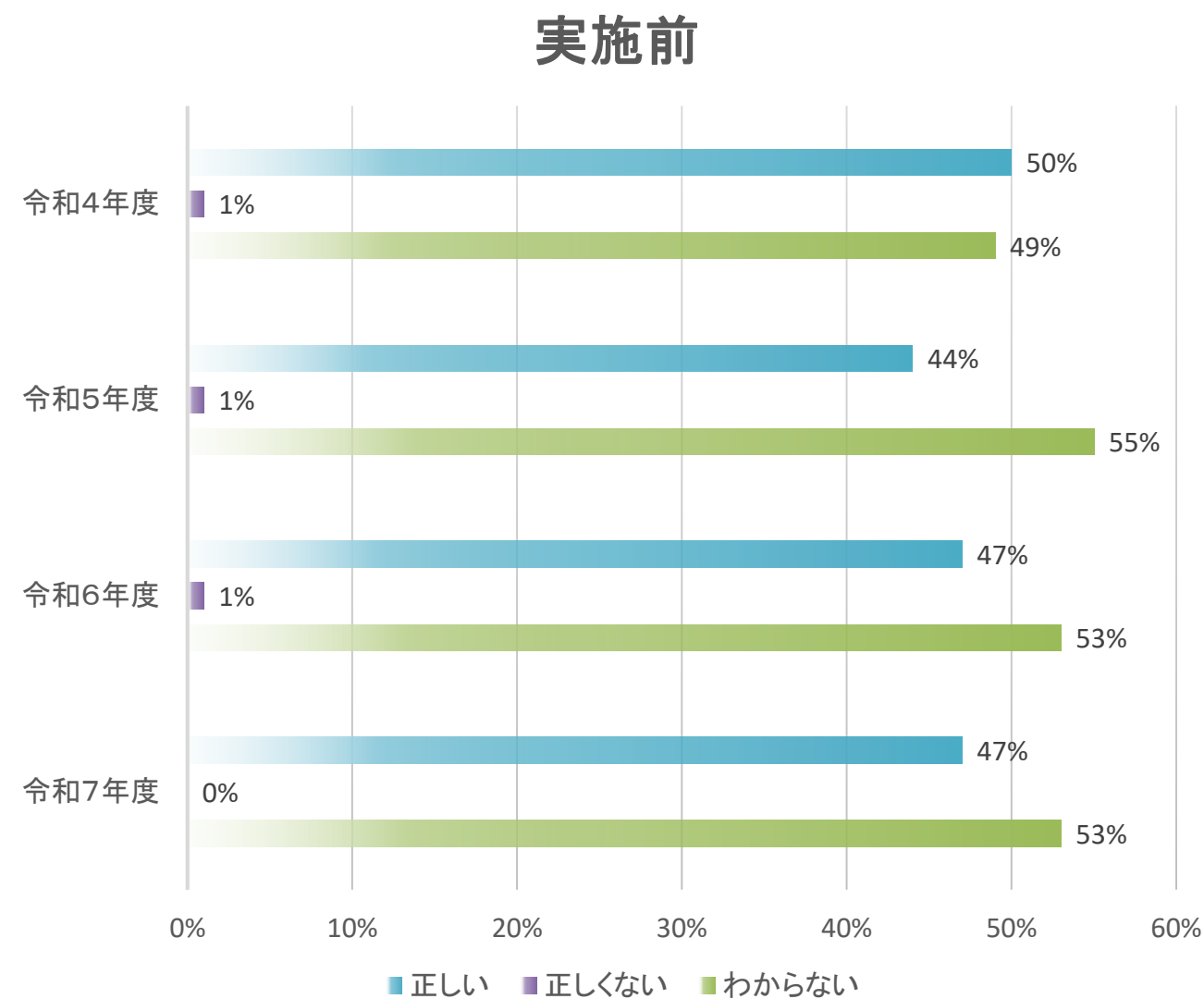
実施前



「聞いたことはあるが具体的には知らない」と回答する割合が高くなっている。

5. アンケート調査について

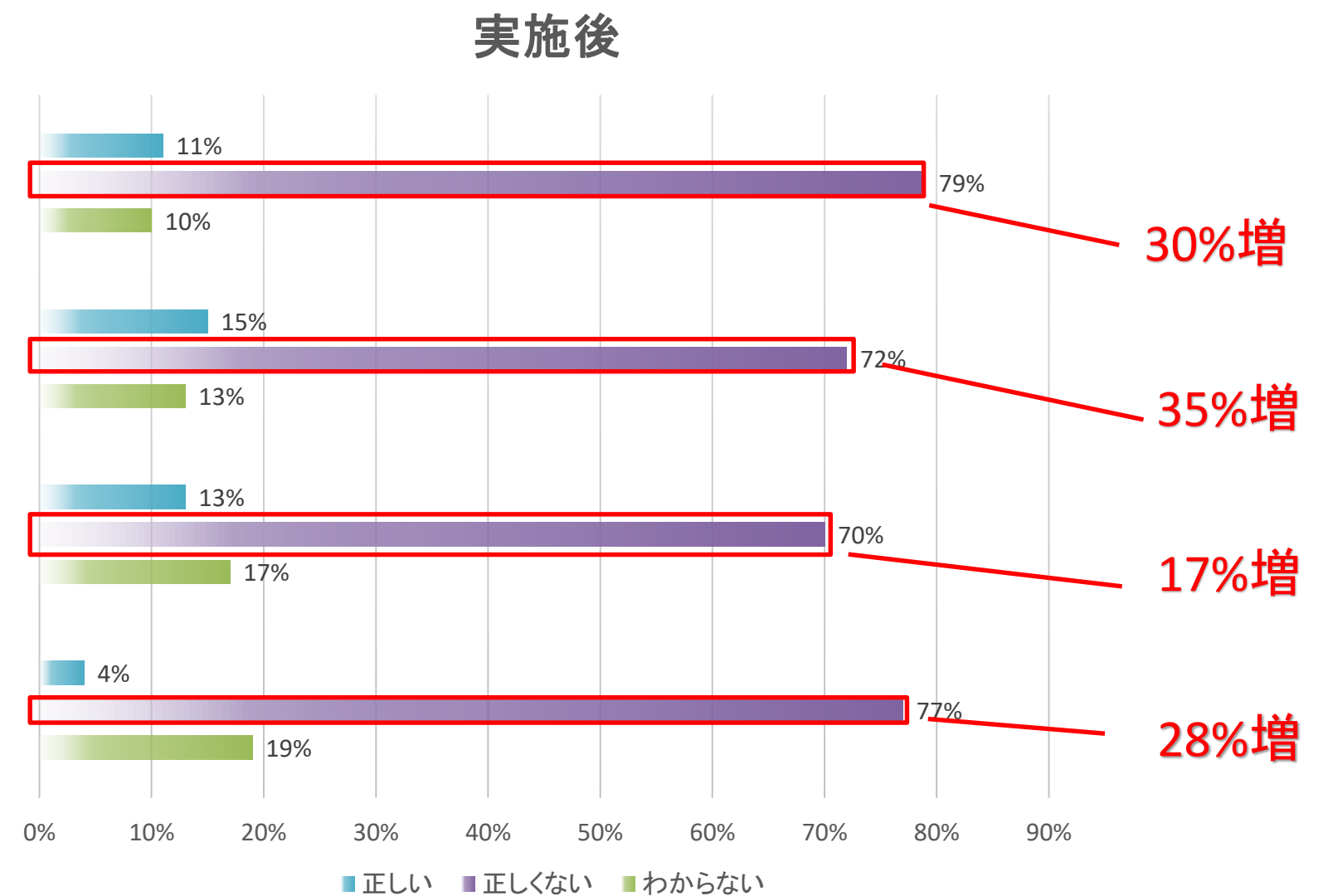
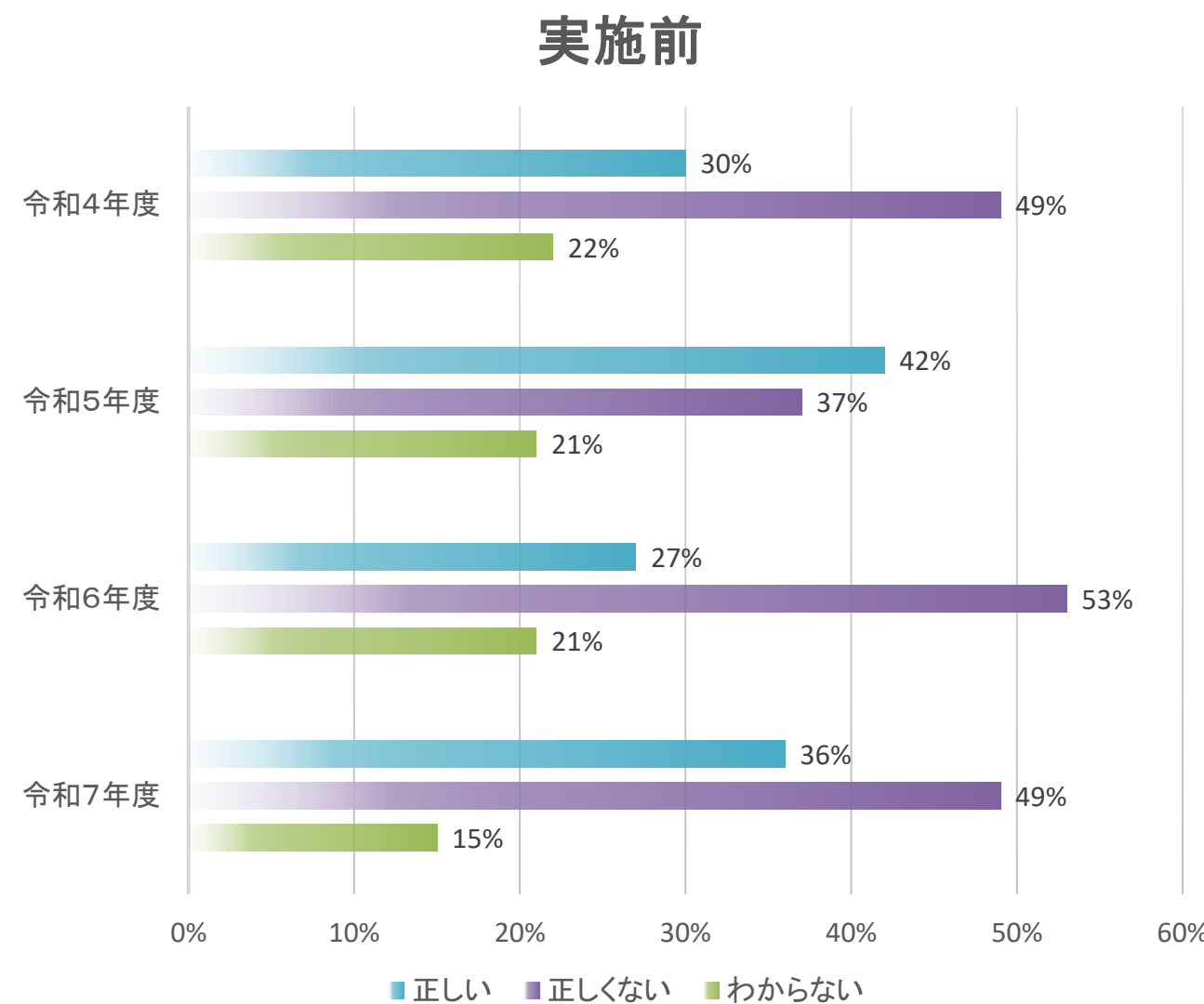
(7) 「LGBTQ」はレズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダー・クエスチョニングの頭文字をとった言葉だ(中学校)



講座の実施前と実施後で「正しい」と回答する割合が各年度を通して38%以上増加している。

5. アンケート調査について

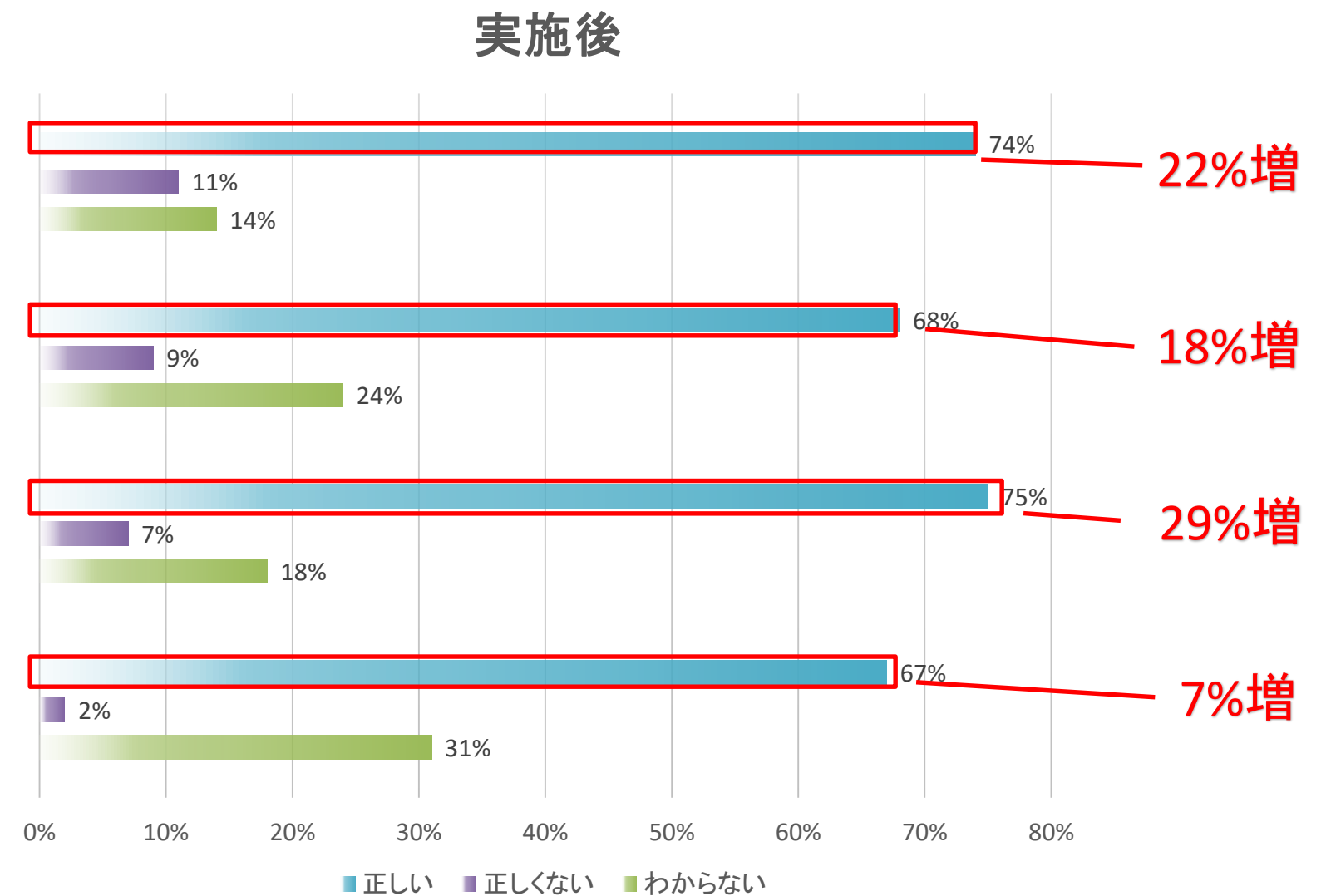
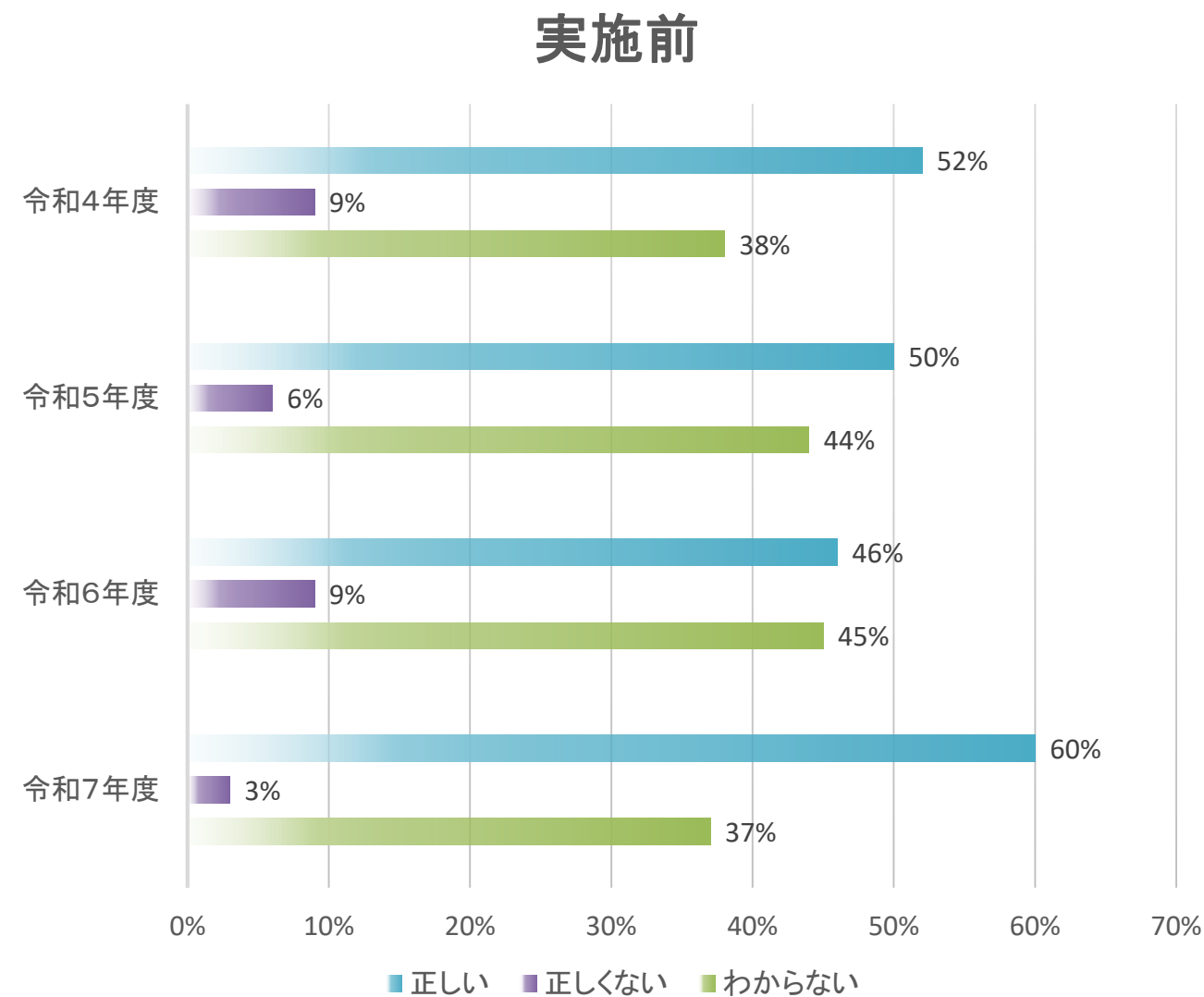
(8) 性別は男か女のどちらかである(中学校)



講座の実施前と実施後で「正しくない」と回答する割合が全体的に増加している。

5. アンケート調査について

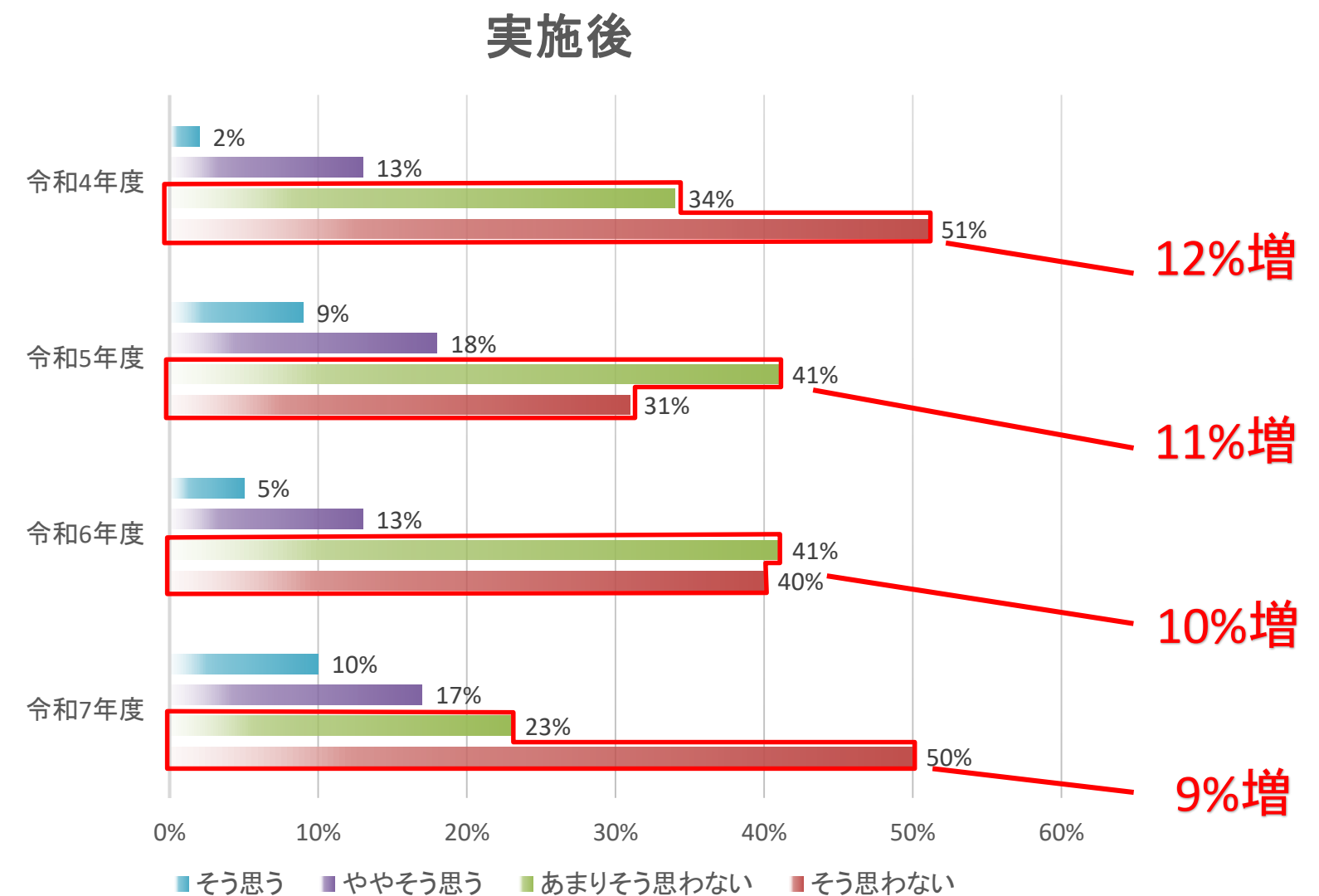
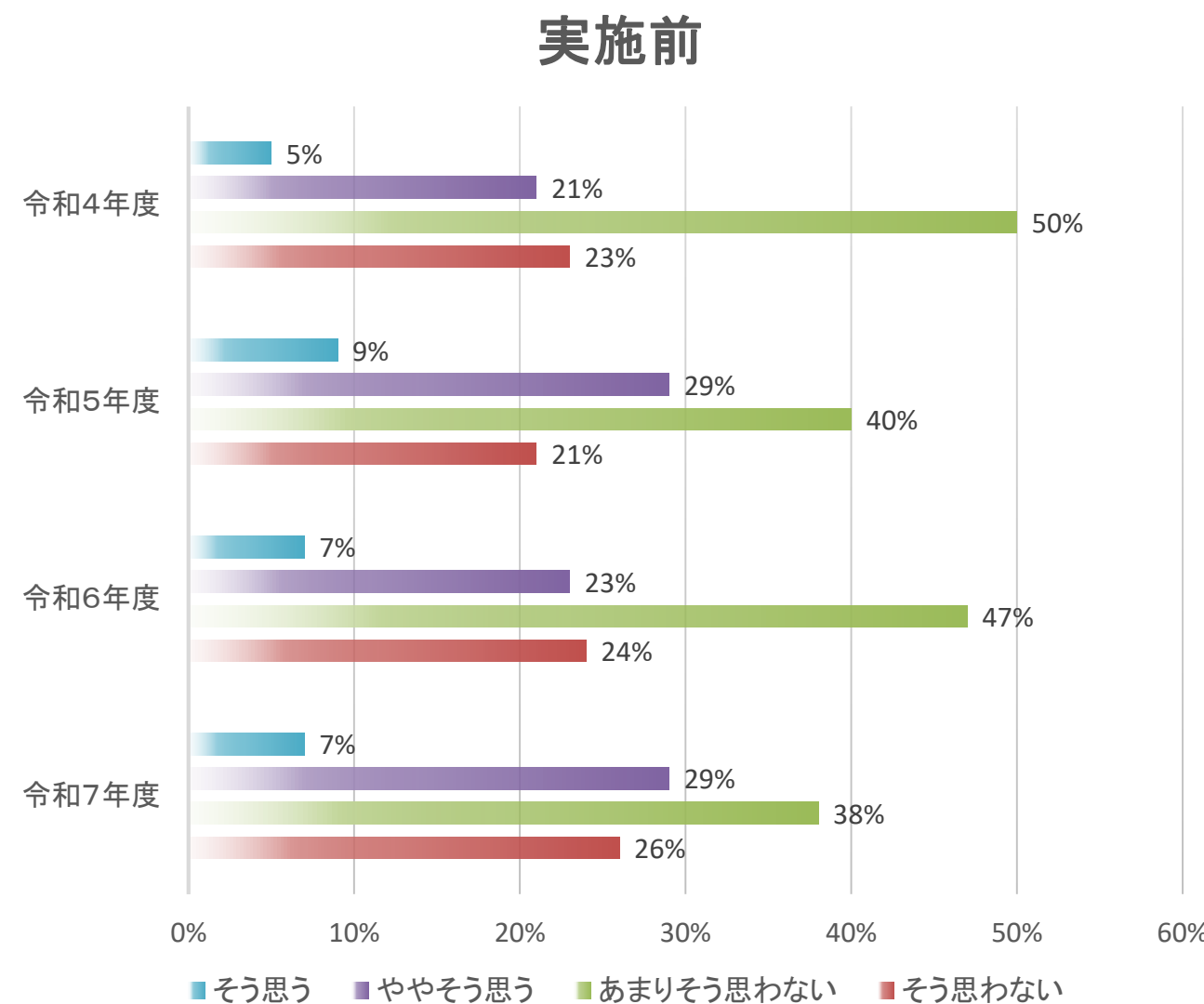
(9) セクシャリティ(性のあり方)は人の数だけある(中学校)



講座の実施前と実施後で「正しい」と回答する割合が全体的に増加している。

5. アンケート調査について

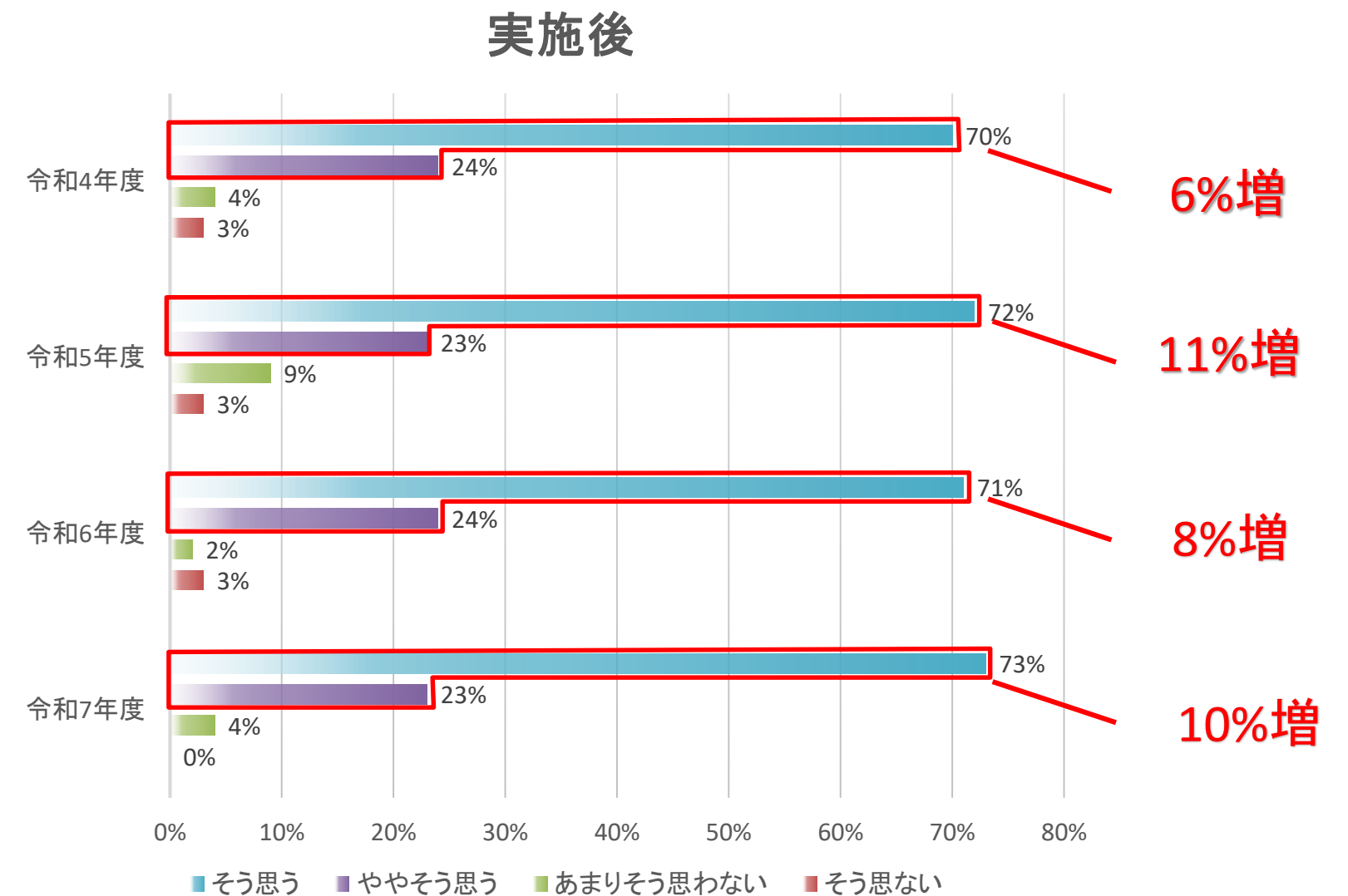
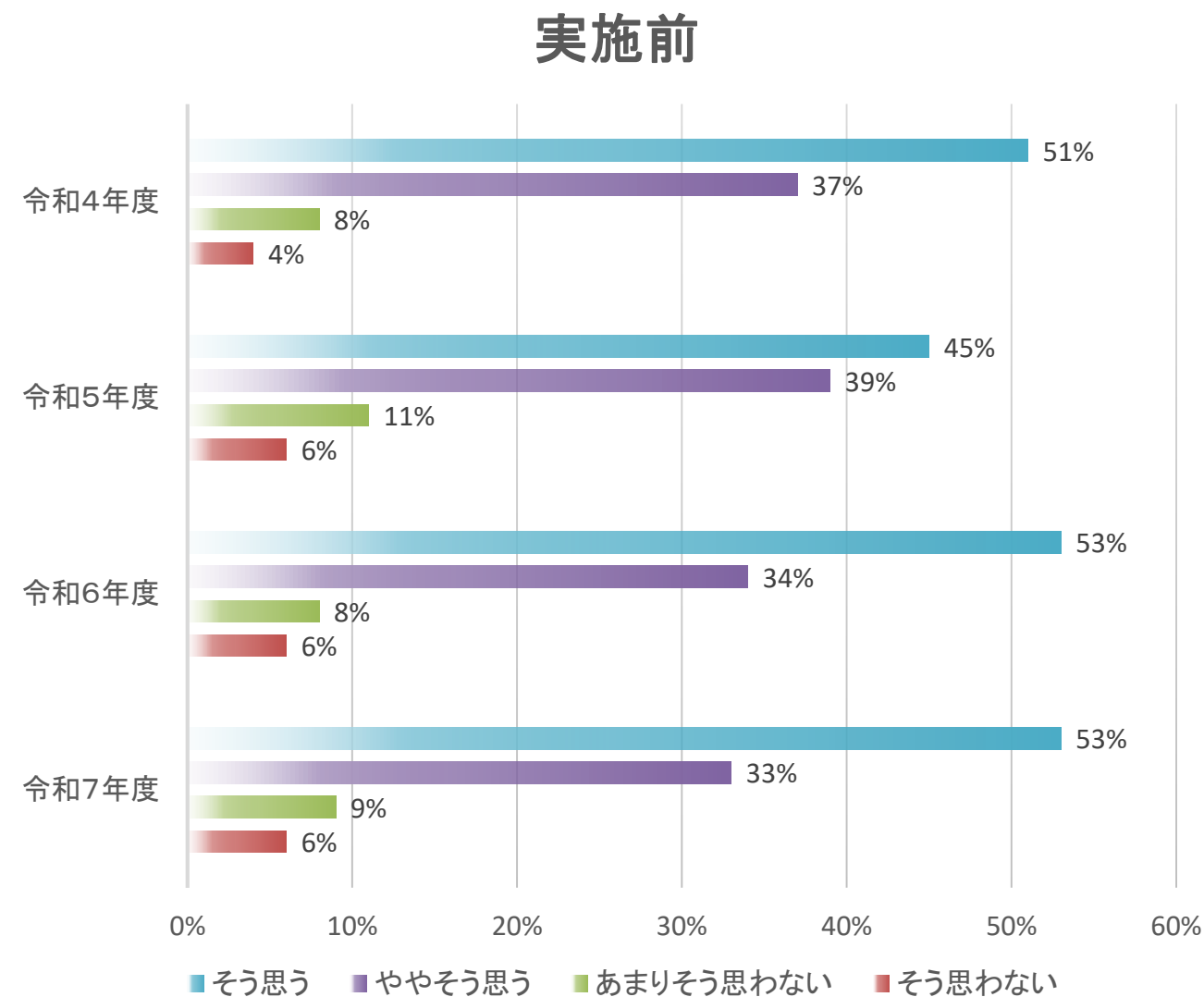
(10) 多様な性についての話は自分には関わりのないことだと思う
(中学校)



講座の実施前と実施後で「あまりそう思わない」、「そう思わない」と回答する割合が全体的に増加している。

5. アンケート調査について

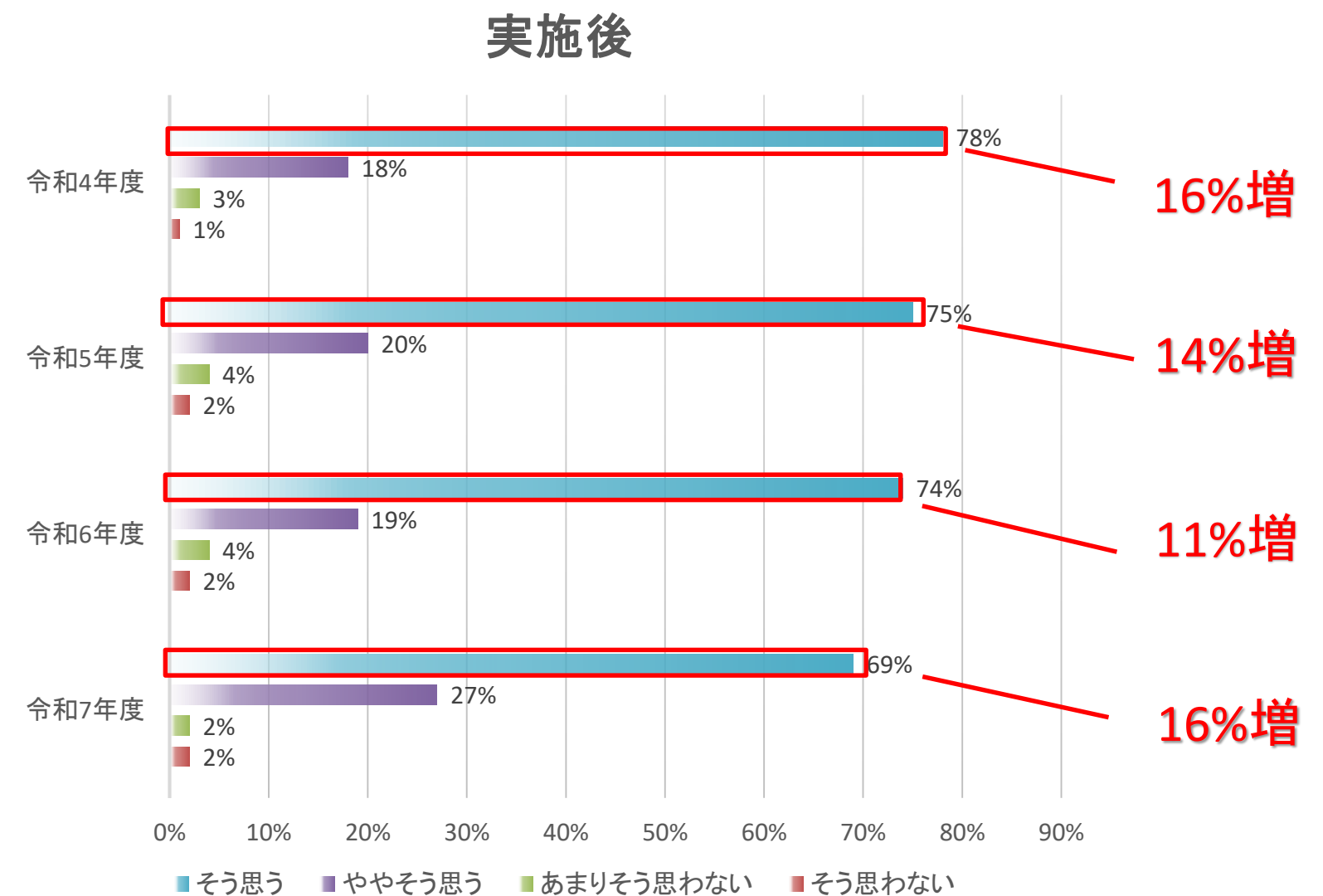
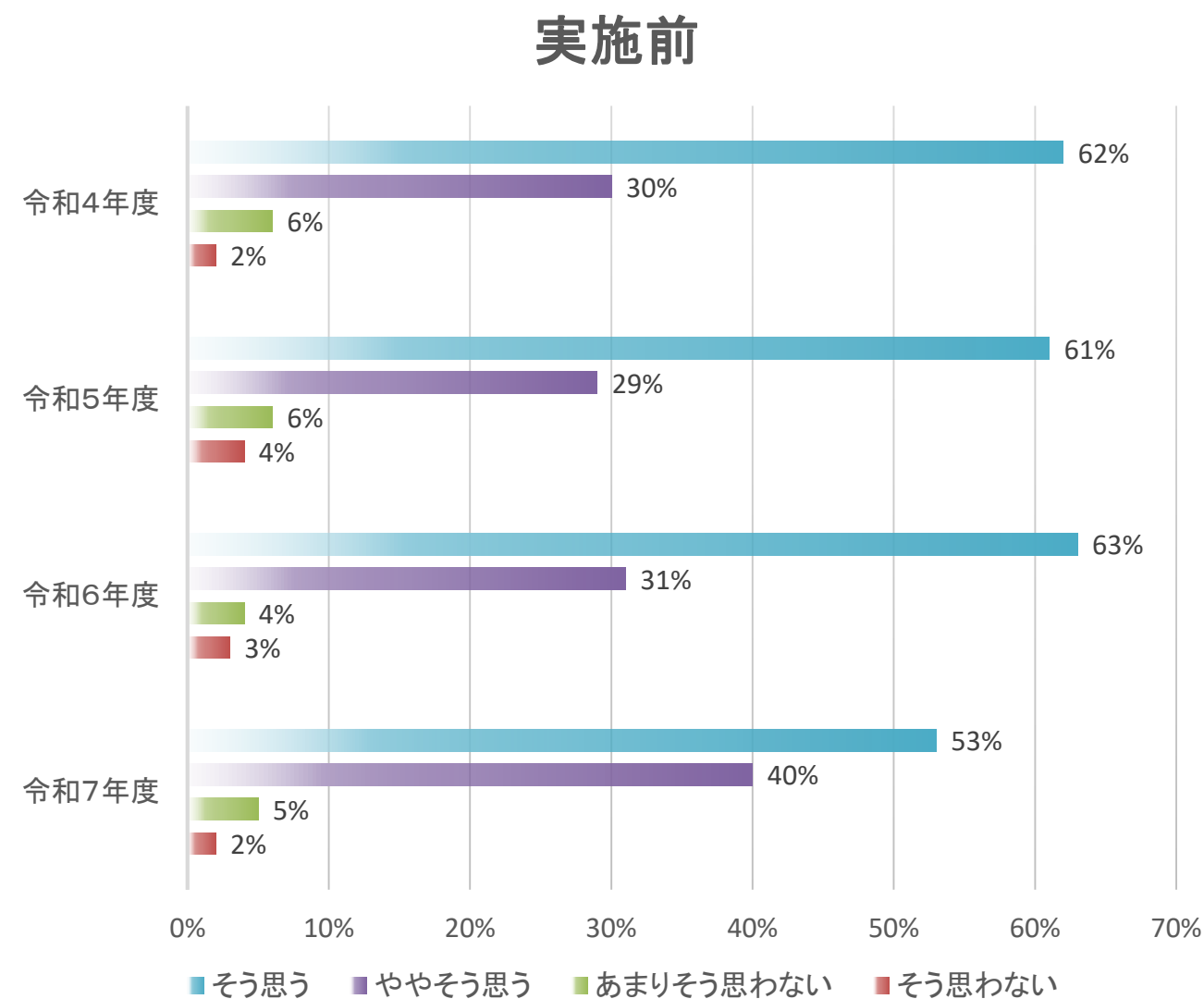
(1) 身近な人にカミングアウトされたら力になりたいと思う(中学校)



講座の実施前と実施後で「そう思う」、「ややそう思う」と回答する割合が全体的に増加している。

5. アンケート調査について

(12) LGBTQについて学ぶことは他の多様性について考えることにつながると思う(中学校)

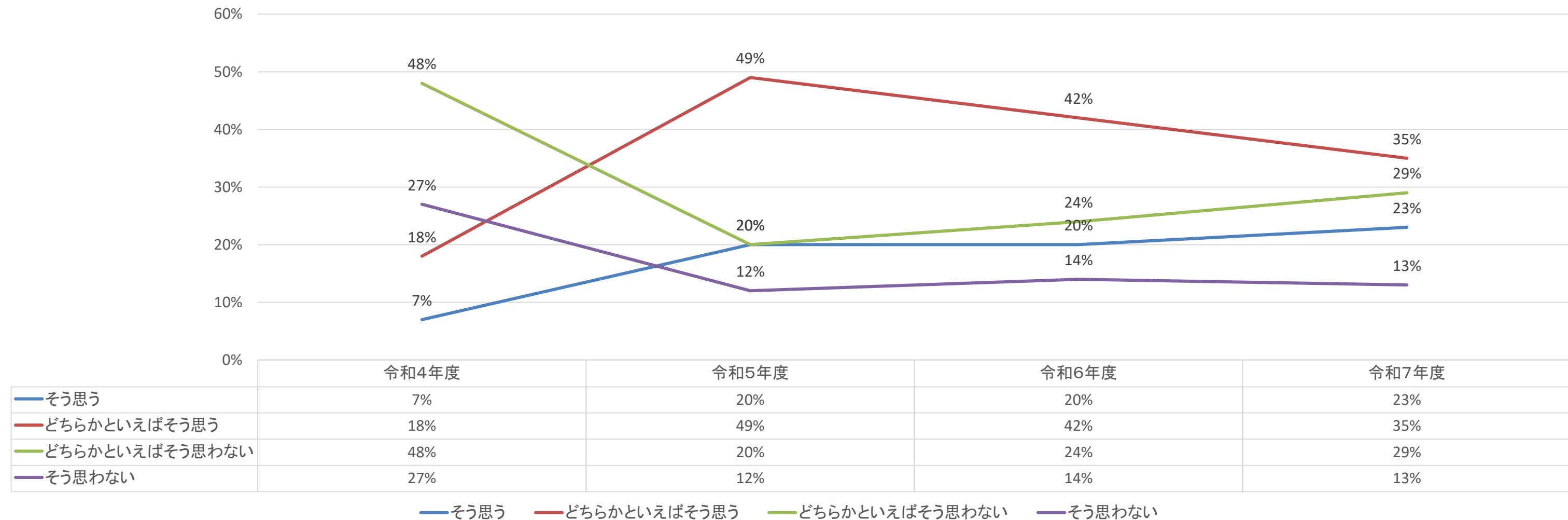


講座の実施前と実施後で「そう思う」と回答する割合が全体的に増加している。

5. アンケート調査について

(13) セクシャルマイノリティについて説明できる(中学校)

実施後

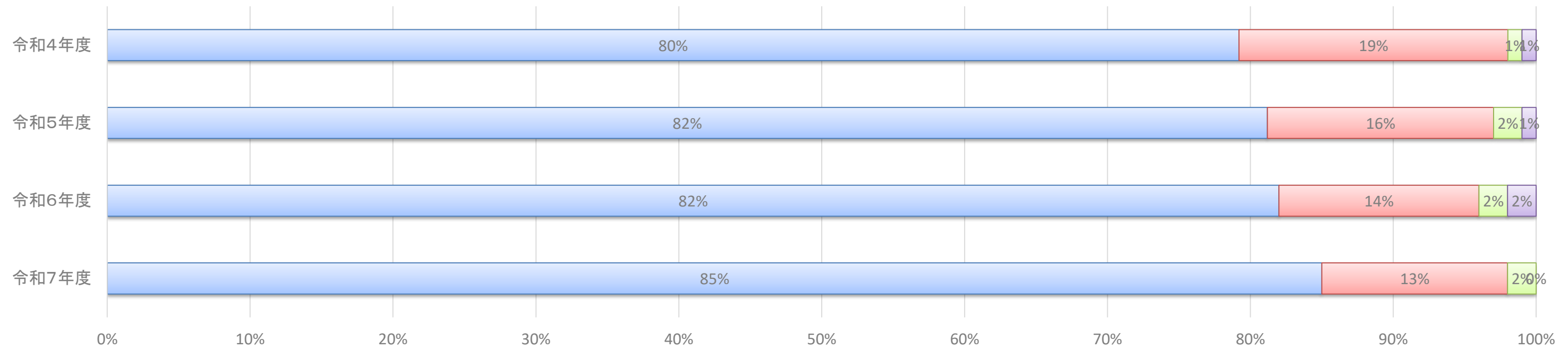


令和5年度から令和7年度では「どちらかといえばそう思う」と回答する割合が高くなっている。

5. アンケート調査について

(14) 講座を通じて、多様な性のあり方について知ることができた
(中学校)

実施後



	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
■ そう思う	85%	82%	82%	80%
■ ややそう思う	13%	14%	16%	19%
■ あまりそう思わない	2%	2%	2%	1%
■ そう思わない	0%	2%	1%	1%

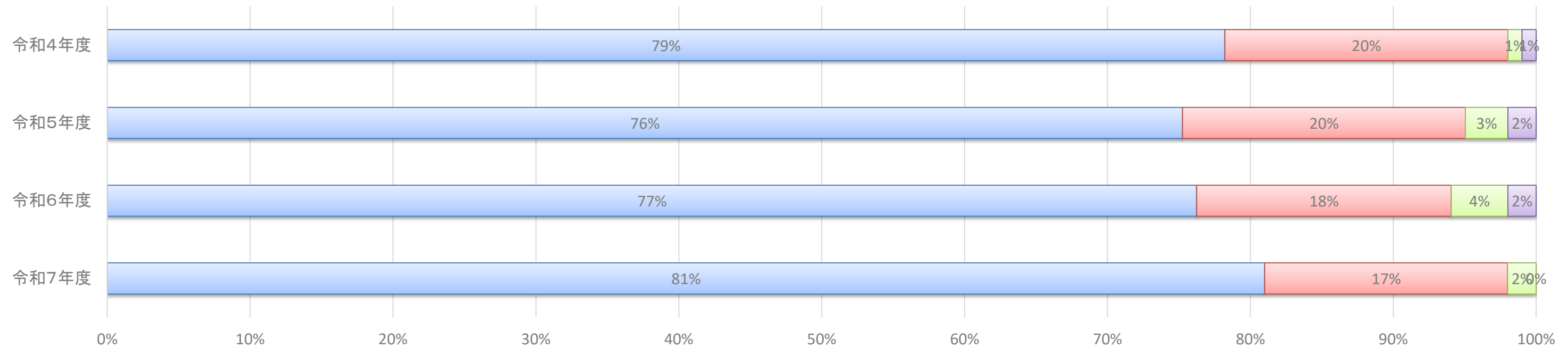
■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

令和4年度に比べて、令和5年度から令和7年度では「そう思う」、「ややそう思う」と回答する割合が高くなっている。

5. アンケート調査について

(15) 多様な性について学ぶことは必要である(中学校)

実施後



	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
■ そう思う	81%	77%	76%	79%
■ ややそう思う	17%	18%	20%	20%
■ あまりそう思わない	2%	4%	3%	1%
■ そう思わない	0%	2%	2%	1%

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

「そう思う」、「ややそう思う」と回答する割合が各年度を通して90%以上と最も高くなっている。

6. お知らせ

あなたや大切な人が「性」に関する悩みを抱えたときに

お気軽にお電話ください。

「性」に対して理解のある相談員が、あなたの相談に寄り添います。

● にじいろのまち相談 (TEL:0263-39-1108)

電話、または下記にじいろのまち相談予約フォームからご予約ください。

URL : <https://logoform.jp/form/N7tm/232771>



QRはコチラ



THANK YOU!

閲覧ありがとうございました!

気付いていないだけで、あなたの周りにも悩んでいる人がいるかもしれません。
性の多様性について、自分のこととして考えてみてください。

松本市 住民自治局 平和人権共生課

松本市中央 1-18-1 Mウイング 3F